



浜水高

図書館だより

がんを知ろう

日本人の2人に1人が、生涯のうちにがんを患い、日本人の死因の30パーセント近くが がんによるもので、死因の第1位となっています。それだけがんは私たちにとって身近な病気といえます。

最近では、がんを早期発見すれば命が助かる率が高くなってきています。がんによる死者を減らすことができれば平均寿命をもっと延ばすこともできます。また、がんを早期のうちに治療すれば体の一部を切除することもなく、がんを患う前と同じような生活をすることも可能になってきています。早期発見のために、がん検診を受けることはとても大切です。

とはいっても、発見が遅れたり、膵臓がんのように発見しにくく、見つかったときにはかなり手遅れになるようながんもあります。私はがんによる余命宣告をされた5人の方の最期をみてきました。1人は高校生でした。がんは、本人にとっても家族をはじめとする周囲の人にとっても残酷な病気だというのが正直な感想です。

図書館にこのたび新たに がんに関する書籍を入れました。みなさんにがんという病気に関心をもっていて、がんで悲しい思いをする人が1人でも少なくなることを願っています。

